＜別紙１＞

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

|  |
| --- |
| 株式会社第三者評価機構　神奈川評価調査室 |

②施設・事業所情報

|  |  |
| --- | --- |
| 名称：ぐっすり　Ⅰ | 種別：共同生活介護 |
| 代表者氏名：平林　光 | 定員（利用人数）： ５名 |
| 所在地：神奈川県川崎市多摩区生田2-5-12　サニーハイツ朝倉101.102 |
| TEL：044-819-5206 | HP：<http://www.nagomi-fukushi.or.jp/ayu-kobo/grouphome.htm> |
| 【施設・事業所の概要】 |
| 開設年月日　平成２５年１１月１日 |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人なごみ福祉会 |
| 職員数 | 常勤職員： ３名 | 非常勤職員 ２９名 |
| 専門職員 | （専門職の名称）  |  |
| 生活支援員１名（３兼務） | 生活支援員（１９兼務） |
| サービス管理責任者（２兼務） |  |
| 施設・設備の概要 | （居室数） | （設備等） |
| ５室 | 浴室２、食堂、トイレ２ |

③理念・基本方針

|  |
| --- |
| (1)理念共に生き、共に育つ　障がいの有無に関わらず地域であたりまえの生活を(2)基本方針1)わたしたちはすべての人の尊厳、生きる権利を重んじ、障がいや疾病を理由とした差別のない地域社会を目指す。2)一人ひとりの多様な個性を認め合い、障がいの有無に関わらず共に生活ことを通して共に育つことを大切にする。3)障がい児者が地域で安心して生活できるよう支援し、環境の整備に努力する。地域諸団体の行事への参加、地域の企業や商店街との結びつき等地域との連携に努力し、障がいを持った人たちの存在の認識を地域に広げる。　4)一人ひとりの特性、特技を生かす活動を通して、喜び、感動を共にする。共感する喜び達成する喜びを通して、信頼関係を築き自分への自信（自己肯定感）を育てる。 5)障害福祉の制度改革や障がい者の権利拡大のために、関係団体と連携し国自治体、地域に働　　きかけを行う。 |

④施設・事業所の特徴的な取組

|  |
| --- |
| 1. ひとりでは難しいことは職員が手伝い、それぞれの方に沿った自立を模索しながら、地域の中

で暮らしていくことをサポートしている。例えば買い物を一人でできなくもない利用者でも本人がコミュ二ケーションをもちながら「選ぶ」助言をして欲しい場合、職員は時間をつくっている。2) 日帰りや1泊旅行を行っている（今年度コロナ禍のため延期中、昨年度は日帰りのみ実施）3) アレルギーや衛生・健康面に配慮した、調理担当者による手作りの夕食を提供している。4) 体験入所を実施している（今年度コロナ禍のため、緊急時・入居前提の体験のみ実施） |

⑤第三者評価の受審状況

|  |  |
| --- | --- |
| 評価実施期間 |  令和３年９月１５日（契約日） ～ 令和４年３月１５日（評価結果確定日） |
| 受審回数（前回の受審時期） | １　回（平成３０年度） |

⑥総評

|  |
| --- |
| ◇特に評価の高い点（１）おしゃべりが好きで朗らかな利用者が全体を明るくしています入職時には法人が規定する個人情報保護、障害特性、接遇などの研修をおこない、職員は一様に「指導するのではなく、利用者の考えを確認してから支援をおこなう」ことを旨としているだけあって、朗らかで自由闊達な利用者ばかりで、リビングは花が咲いたようです。訪問時には「ご飯どうするの？」との仲間の質問に「（職員の）○○さんと一緒に食べる」と嬉しそうに話す姿も視認しています。1. 情報が一元化され、サポートが速やかに実現しています

そもそもは職員数が不十分なための対策でしたが、管理者が６棟あるグループホームを統括、サービス管理責任者が一つひとつを巡回することで情報の一元化が成されています。管理者はサービス管理責任者からの昇格で利用者、家族、職員とも馴染みの関係にあり、現任のサービス管理責任者と職員の支えもあって、利用者や家族の希望や困りごとに速やかに対応することが叶い、内容によっては個別支援計画に反映させています。（３）緊急受け入れとしても活用できる体験利用枠が設けられ、地域貢献を果たしていますもともと賃貸でもあったので、浴室やトイレも2つあり、利用者の人数に対し、ゆとりのある仕様となっています。また定員5名ですが、1名を体験利用枠として設定しています。「グループホーム入居前提」「入居自体はまだ先でもいいけれど、どんな所か体験してみたい」といったニーズに応えており、１部屋空いていることから緊急時の受け入れもおこなっています（ただし、昨今のコロナウイルスの状況もあり、現在は入居前提、緊急時の受け入れのみです）。◇改善を求められる点ぐっすりはマンション型のホームであり、1階部分の101・102号室が男性ホームとなっています。築年数は古いですが、近年大規模な雨漏り改修工事も行っており、内部の傷んだところも適宜リフォームしています。それでも追いつかず少しずつ綻びが出てきており、床の腐食等もあったため、今年度も追加修繕しています。中長期的に見ても細かな修繕が見込まれるため、本部との予算計画などに着手することが求められます。 |